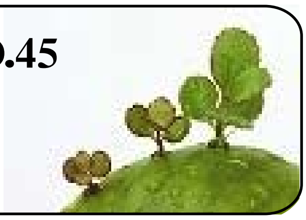
高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会　会報

ひと・緑・風　明日につなぐ　　NO.45

tomorrow



2022 年 6 月

高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会
代表：寺島靖夫
事務局　春日井市押沢台 6-11-13
TEL/FAX　0568-91-8364
https://www.hanamomonokai.com/

総会を無事終了、さあ区切りの 10 年目！

今年は３年ぶりに皆が集っての総会を開催致しました。
そして当会は結成以来 10 年目を迎え、新しい展開を迎えようとしています。
総会で可決された今年度の活動計画の概要を説明していきます。

①県有地周辺への活動拡大をはかる

高森台地区は新しい戸建て住宅や商業施設の建設、高森山周辺の整備など再生が進められています。そこで市や UR との連携を持ち、「ハナモモの植栽」「桃源郷の拡大」を提案していきます。

②仮称「ハナモモ祭り」の開催

ハナモモの植樹に限定せず開花を楽しむ「植える、育てる、愛でる」という新しいイベントを考えていきます。更に他団体と共催のイベントができないかというアイデアもあり、検討を進めていきます。

③花壇整備

どんぐりの森正門横の「あきよ花壇」は、今まで通りヒマワリや春の花で飾っていきます。ヒマワリは「里親大作戦」（種を多くの人に預け、成長した苗を定植し）を今年は行わず、花壇に直まきします。

寄稿　「新しいハナモモイベント、私のアイデア」

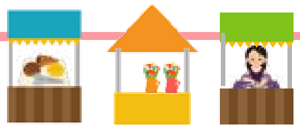
４月 10 日に催された **『観桃茶話会』**（※満開のハナモモ斜面での茶話会）では、晴天の下美しく咲くハナモモを眺めながら、お茶を飲んだりお菓子をいただきました。

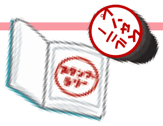
３月に行われた最後の育樹祭では、スタッフとして参加させていただきました。その時はまだハナモモたちは蕾で咲いていませんでしたが、子どもから大人まで、多くの人が育樹祭会場にお越しくださり、植え付けも会場の催しも楽しんでいらっしゃいました。

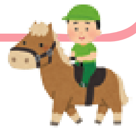
その様子を思い出して、ふと観桃茶話会のように多くの皆さんとハナモモが咲く美しい景色を共有できるようなイベントがあったら楽しいだろうなと思いました。

勝手な構想ですが、**「カフェはなもも」と「どんぐりの森」を会場として、この二つの会場にキッズダンスやミニ動物園、マルシェやワークショップ、キッチンカーをお招きして、スタンプラリーなども企画してはどうでしょうか。** 来場者がこの二つの会場での催しを楽しみ、行き来しながら満開のハナモモを存分に眺められるイベントが開催されたらどんなに楽しいでしょう。

「観桃茶話会」から「観桃イベント」として、ハナモモの咲く姿を、多くのかたと楽しみながら観ることができるイベントが実現されることを願っています。　　　佐波了美







ハナモモを愛でながらスタンプラリーに参加し県有地を半周する…夢のあるプランだと思いませんか

新しいイベントについて、みなさんのアイデアをお待ちしています！

④既存植栽エリアの維持管理の強化

過去５回の育樹祭で延べ 500 本に迫るハナモモを植えてきました。この数は枯死した木の植え替えも含んでいます。開花時期には熱心にカメラを向けて下さる方もいて、今後ハナモモ斜面を地域の名所にしようと目標に据えるなら、今ある木をしっかり育てていく責任があります。しかしメンバーが高齢になり、危険度の増加や作業効率の低下も大きな課題。プロの手を借りつつ、仲間集めも急務と言えます。

今年植樹に参加して下さった方から、以下のような文章を寄せていただきました。子や孫が先人からの贈り物と感じてくれるような、そんな美しいエリアを創り出せていければと思います。

初めて参加したハナモモ育樹祭　　高蔵寺町　松本豊

春になるとハナモモがきれいに咲いていることは知っていました。 町内の友人から 「ハナモモ植えたから、 見に行ってね」 と毎年春になると言われていたからです。

今年は育樹祭に参加でき本当に楽しかったです。 コロナ騒動の中で家にこもりがちで足腰が弱っていましたが、 ハナモモのおかげで野外活動ができるようになりました。 自分が植えたハナモモが元気に成長しますよう祈るばかりです。

まるで子供の成長を見守る親のような気分です。 樹を植える行為は「未来の希望」 を植えることだと思われます。 子どもや孫の世代に私たちの夢を託すような、 「幸せ」 な贈り物をするような、 そんな気持ちです。

新繁田川沿いの桜並木も、 高座山の桜並木も、 先人からのプレゼントと思います。ハナモモは子供や孫たちを喜ばせることでしょう。そのことが私たちの喜びであり、 生きがいにもなります。

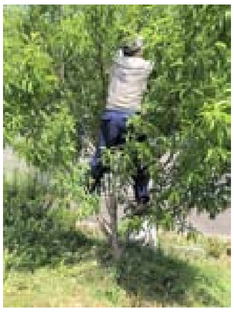
Topic1　５/１４　新しい木の根元に木質チップ敷設

今年植えたハナモモは１年目から元気に花を咲かせてくれましたが、地面はいかにも栄養が乏しく固く乾いています。そこで根元の保護と保水、雑草予防のために木質チップ（木を細かく砕いたもの）を敷くことにしました。木質チップはにこにこ造園さんに搬入して頂き、メンバーが土嚢に詰め込んでハナモモ１００本の根元に５㎝の厚さに敷きこみました。

この日集まった１４人は、２日間と予定していた作業をなんと半日で終了させるというすごいパワー！頑張りすぎて腕を痛めた人も…。お疲れさまでした。

Topic2　５/３０　一部のハナモモに最初のせん定

５月１０日に害虫予防の薬剤散布もしていたのですが、この日ひときわ大きく育っているハナモモの葉裏にビッシリとアブラムシがついているのを発見！葉が生い茂り過ぎて、風通しが悪くなっているので虫に狙われるのでしょう。いい機会なので、内側の枝をせん定することにしました。とは言え、にわかに決めたので脚立などは用意してなく、第一足場の悪い斜面なので踏み台を使うのも危なさそう。と思案していたところ一人のメンバーがためらいもなく木に登ってノコギリで枝払いを！この思い切りのよさと、大人が登っても大丈夫なまでに育った木に感動を覚えます。もちろん、せん定の後は再度薬剤散布を行いました。



【編集後記】 ５月中旬、急に悪寒と倦怠感に襲われ、38.6 度の発熱。「よもや」と思い保健所に問い合わせると「2～3 日様子を見て」。インターネットで発熱外来を検索しても見つからないし、よく耳にする「無料検査所」も発熱していたらダメ。3 日目やっと PCR 検査をしてくれる病院を探し当てました。どんぐりの森の系列「春日井リハビリテーション病院」です。検査から 3 時間後、電話で「陰性」と伝えてくれました。この時期発熱にはご用心！